ConMas i-Reporter
承認フロー設定について

© CIMTOPS Corporation.

目次

- 作成・査閲・承認のフロー 4
- はじめに 5
- Designer　承認を必須入力にする設定 6
- Designer　承認順序を制御する設定 7
- Designer　申請順序を制御する設定 8
- Manager　 グループ管理　設定 9
- Manager　ユーザー管理　設定 10
- Manager　権限/定義権限　設定 11
- Manager　権限/クラスター　承認クラスター設定 12
- iPad 承認申請 14
- iPad 承認と承認申請 15
- iPad 差し戻し 16
- iPad 編集保存 17
- iPad 完了保存 18
- Manager　承認・差し戻し 19
- Manager　一括　承認・差し戻し 20
- ネットワーク自動申請 21
- ネットワーク自動申請を有効にする 22
- ネットワーク自動申請の使用例 23
- 本人確認要求機能 24

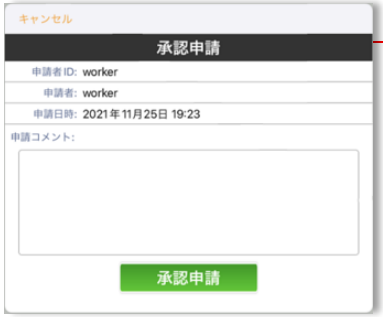
© CIMTOPS Corporation.

作成・査閲・承認のフロー

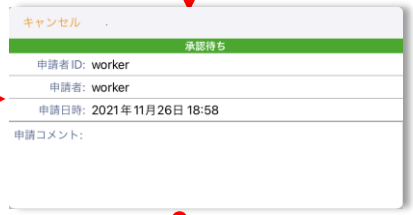
<作成>

<査閲>

<承認申請>



<承認待ち>
承認者以外参照



<承認待ち>
承認者

<差し戻し>承認者以外

<差し戻し>承認者

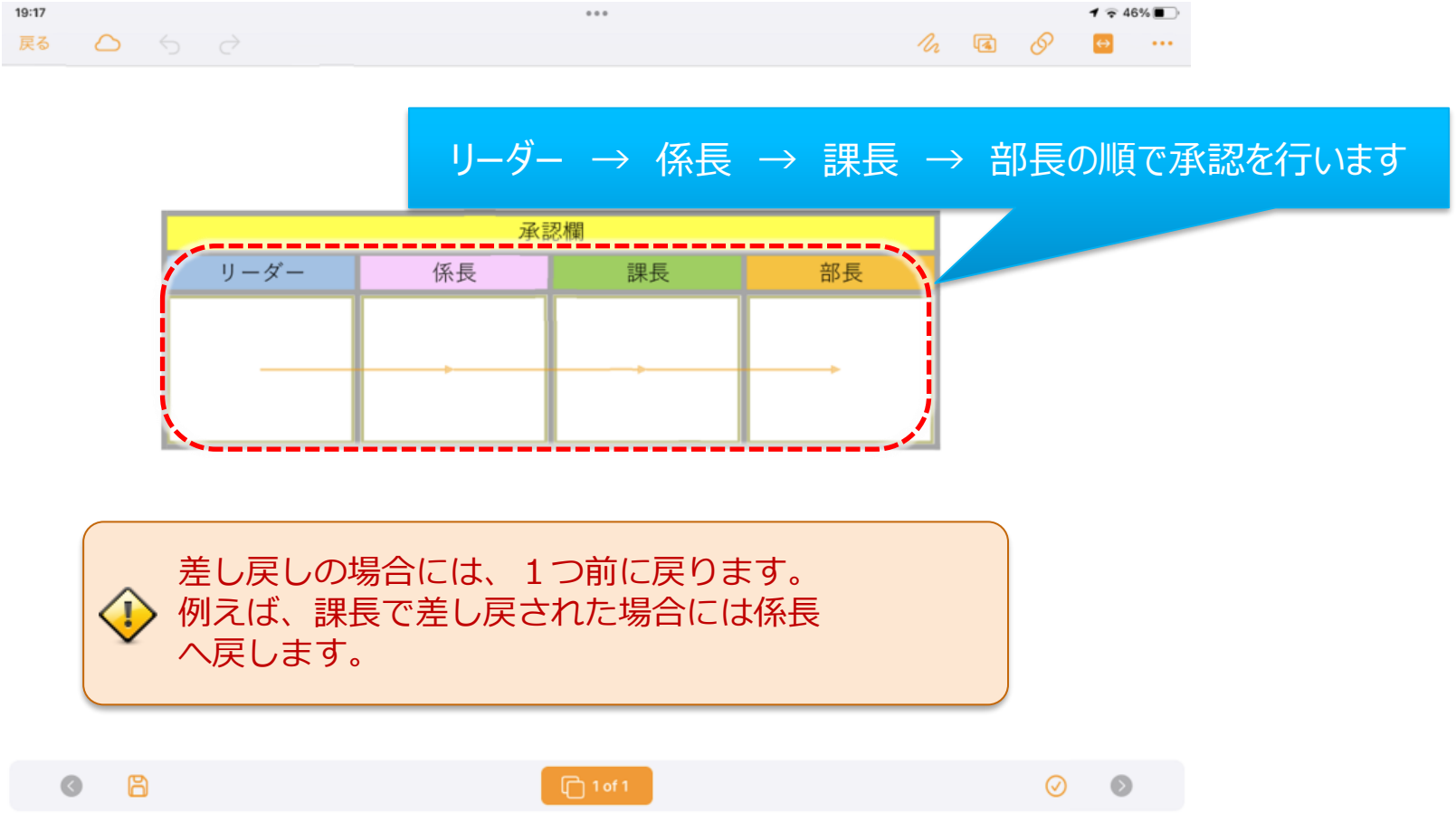
<承認済>

© CIMTOPS Corporation.

はじめに

承認フロー設定について、手順を説明します

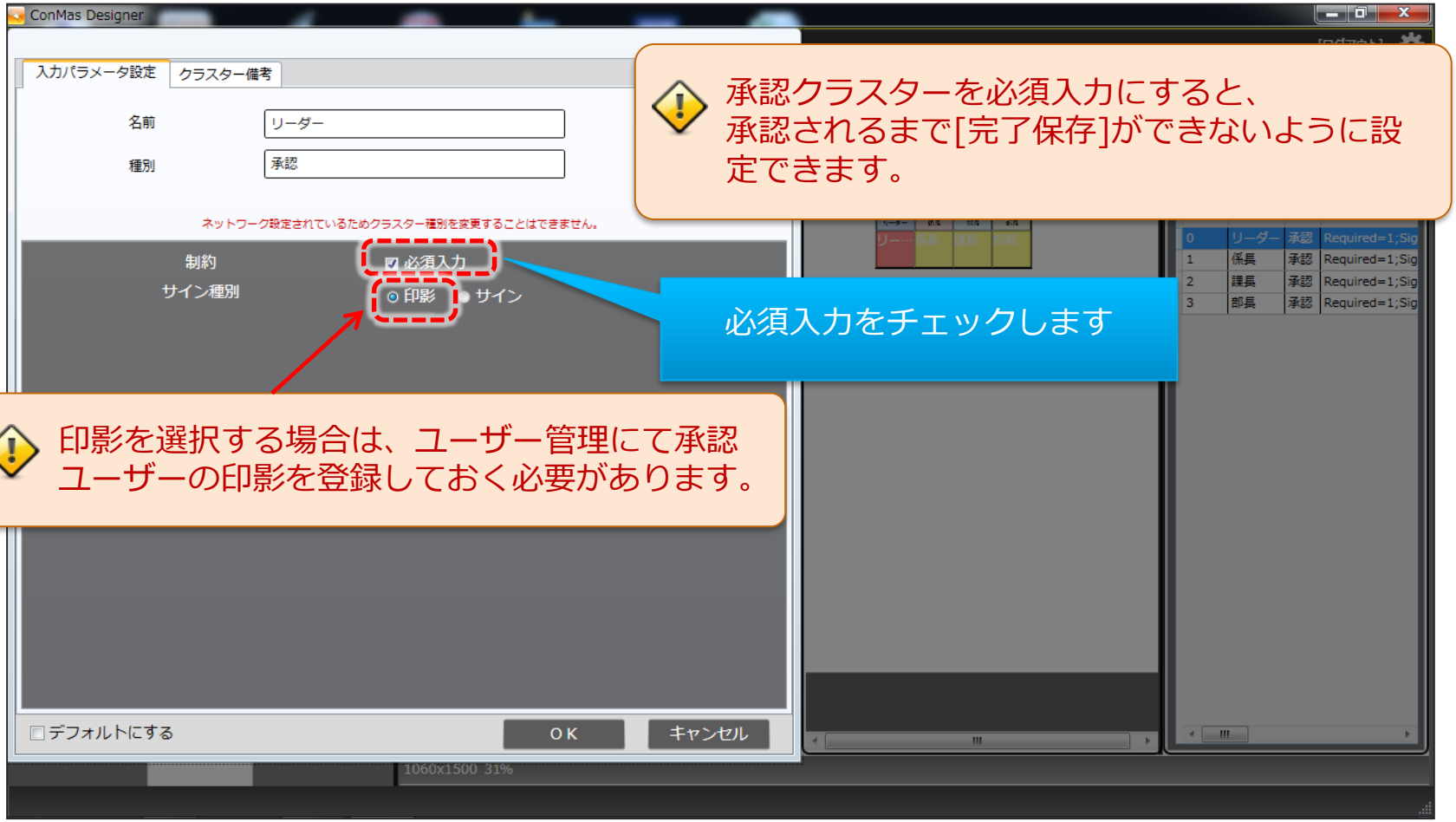
- 入力担当者がリーダーへ申請、リーダーが承認後、係長へ申請と順々に申請・承認を行います。
- この例では、承認クラスターを４つ配置して、それぞれに個別の権限を設定します。



© CIMTOPS Corporation.

Designer 承認を必須入力にする設定

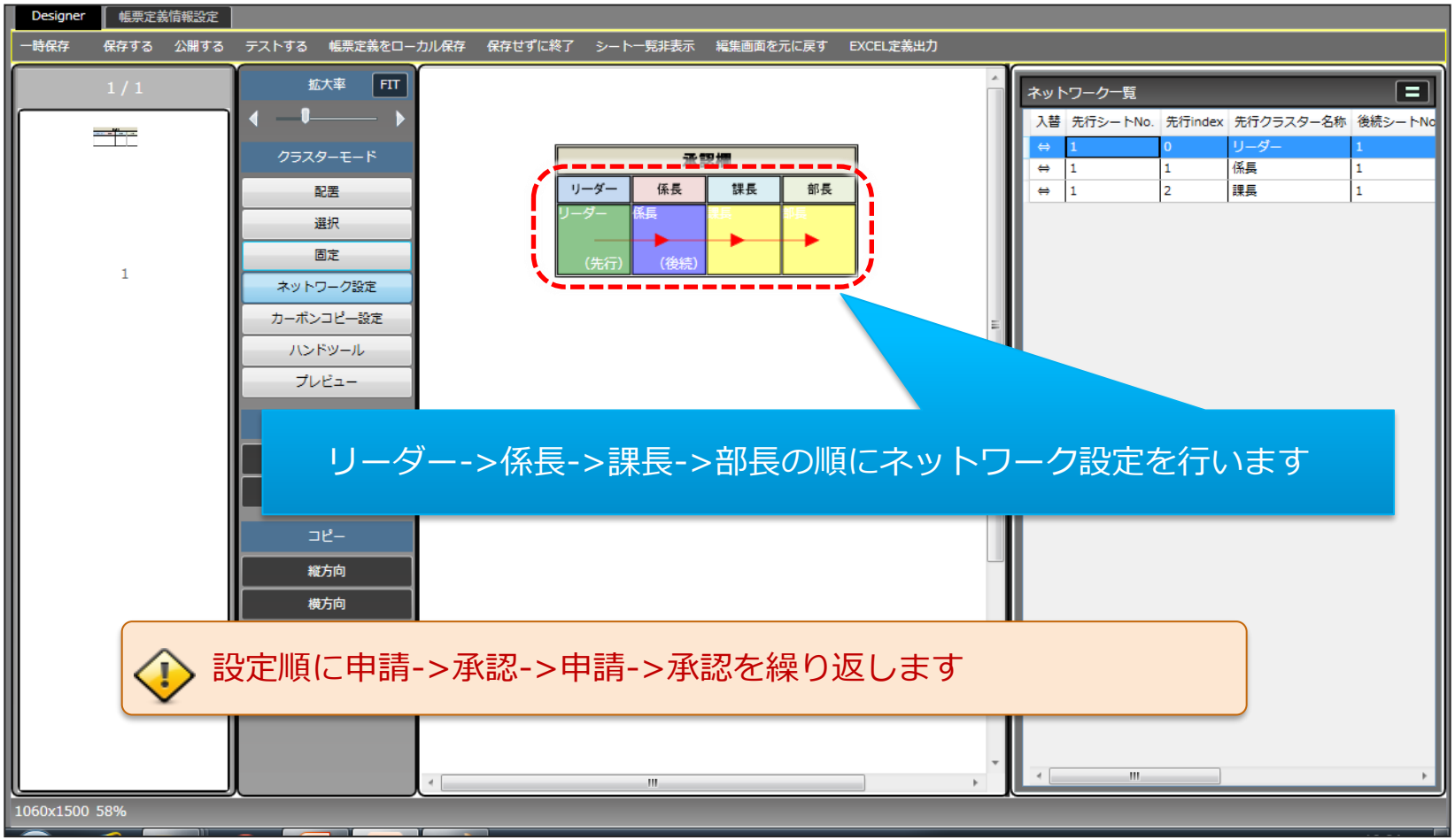
- 承認クラスター全てを必須入力に設定



© CIMTOPS Corporation.

Designer 承認順序を制御する設定

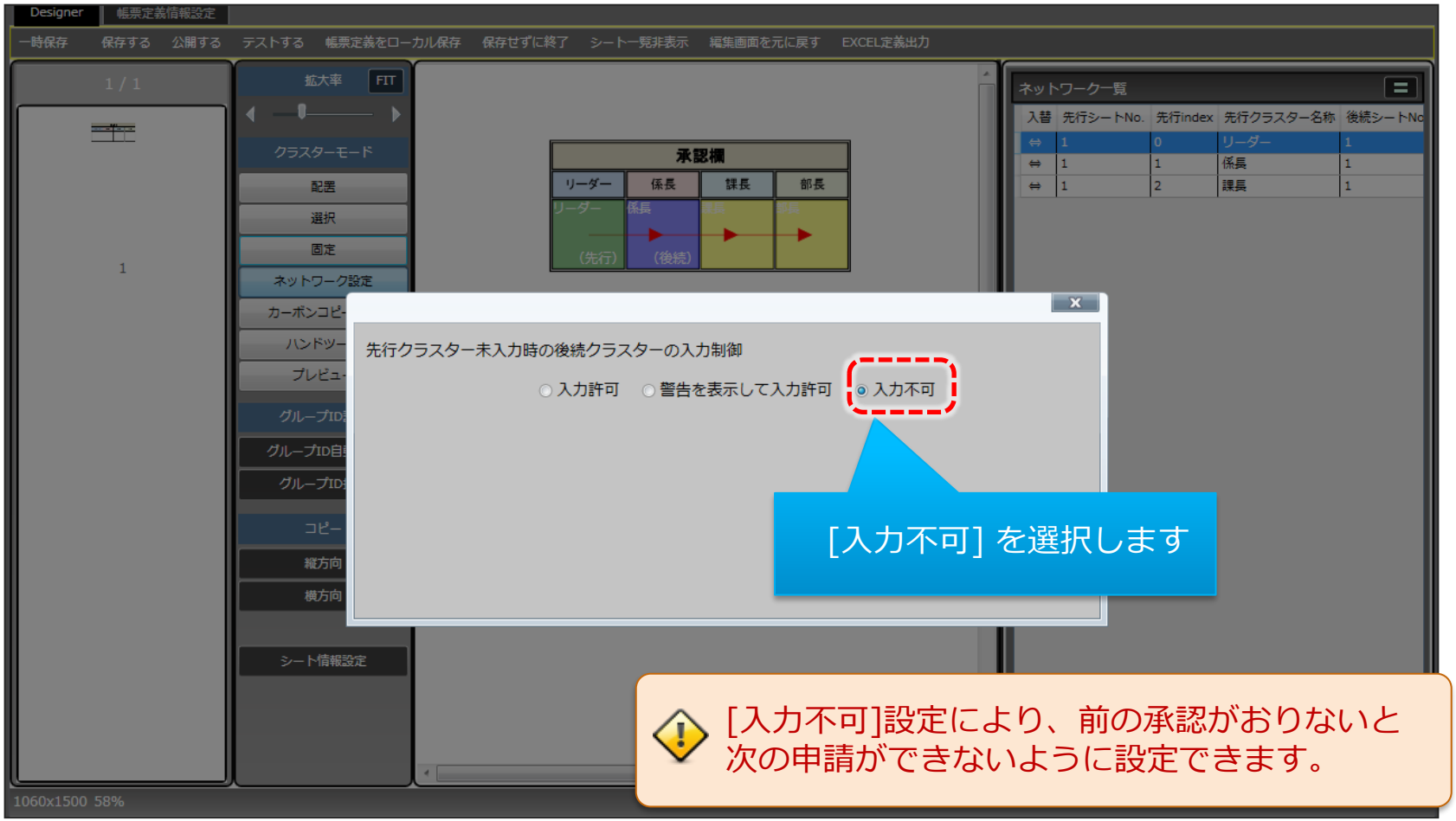
- 承認クラスターの承認順をネットワーク設定で行います。



© CIMTOPS Corporation.

Designer 申請順序を制御する設定

- 設定した全てのネットワーク設定に、ネットワーク制限設定->入力不可を設定します。



© CIMTOPS Corporation.

Manager グループ管理　設定

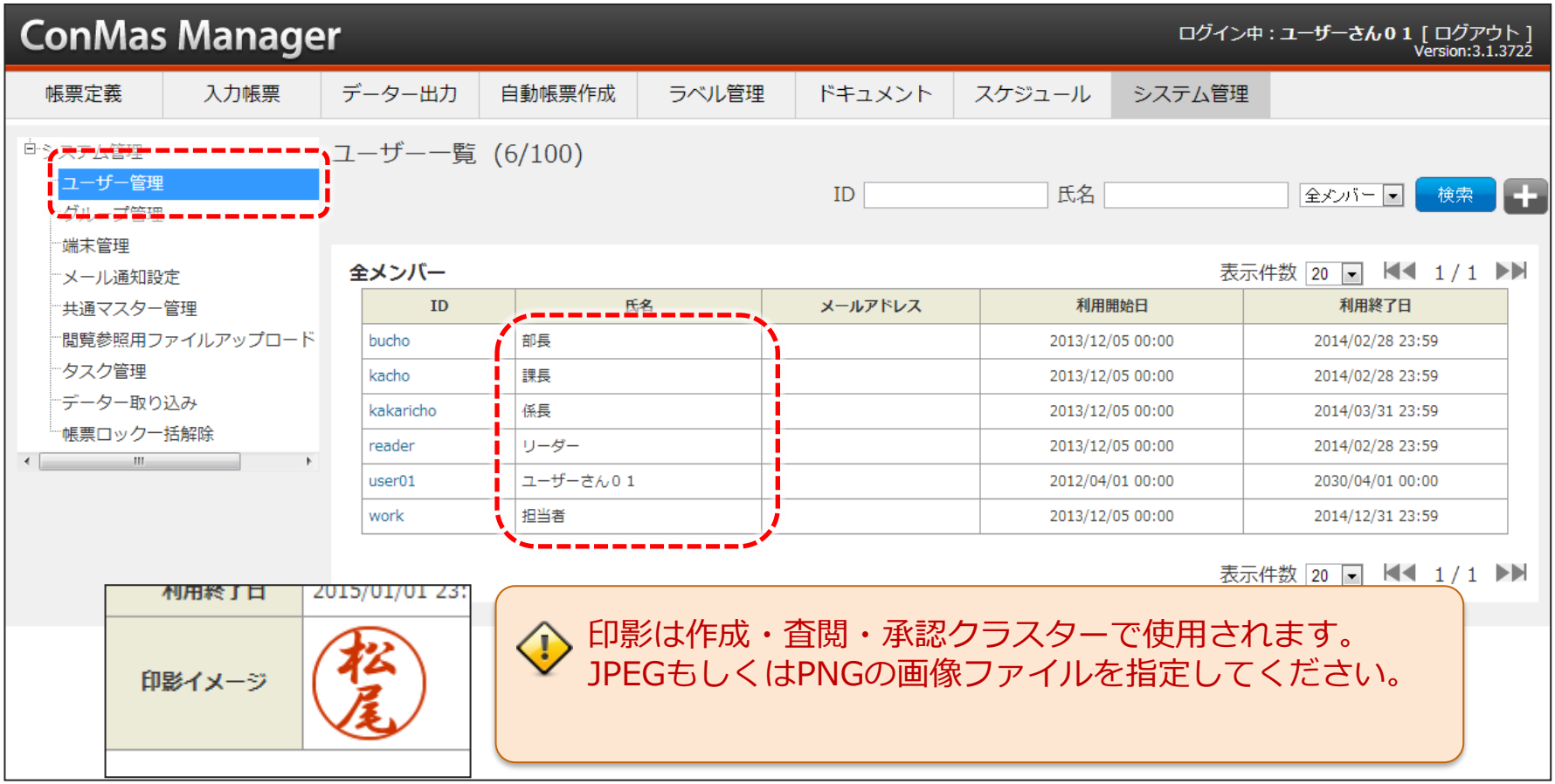
必要な権限数分のグループを作成します

- [グループ管理]にて、入力担当及び承認権限数分のグループを作成します。
- この例では、入力担当（グループ１）～部長（部長Gr）までの５グループを作成しています。

© CIMTOPS Corporation.

Manager ユーザー管理　設定

- グループ管理で作成したグループをユーザーに割当てます。
- この例では、work（グループ１） ～　bucho（部長Gr）　５ユーザを作成し、それぞれグループを割当てています。

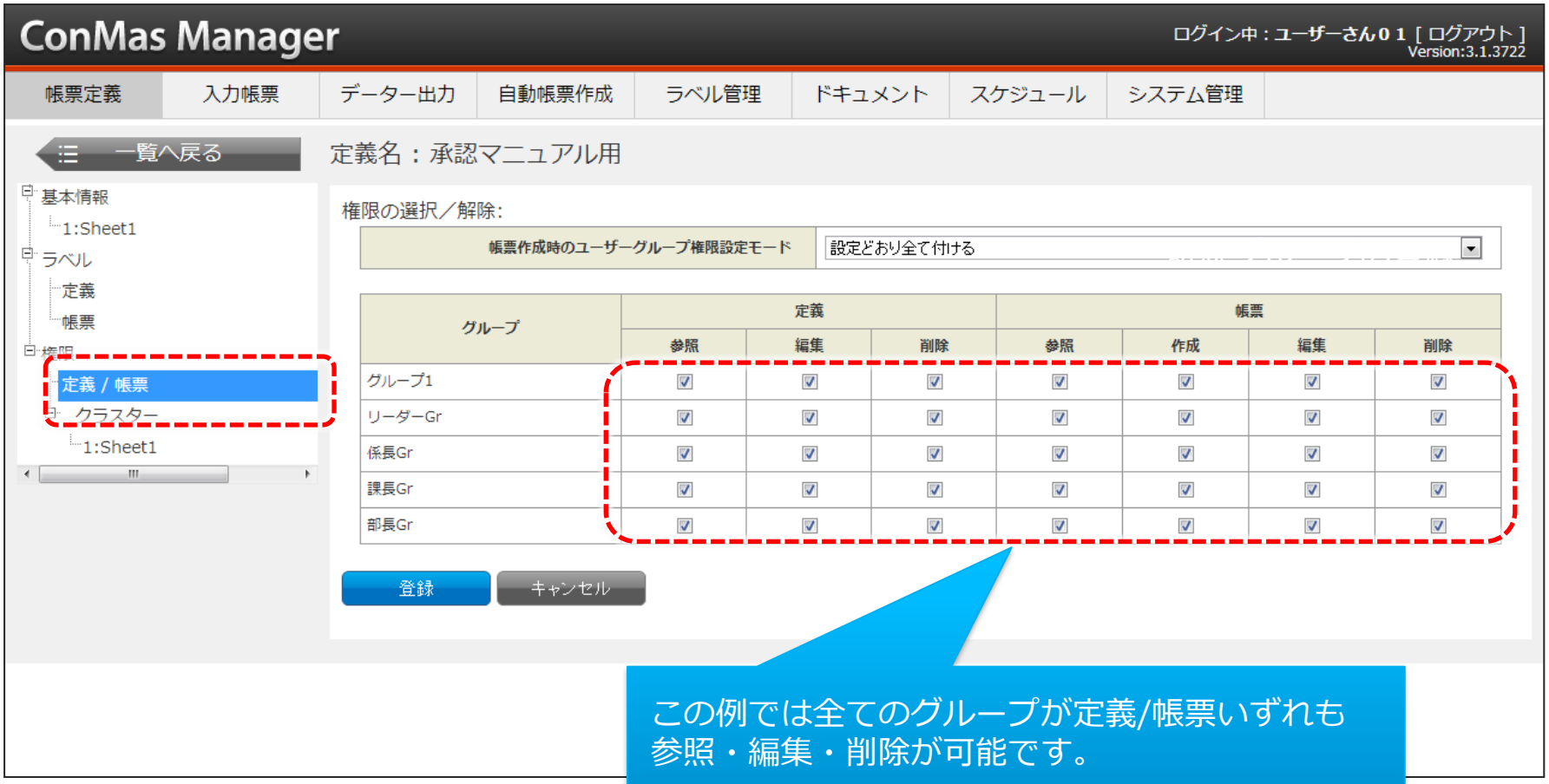


© CIMTOPS Corporation.

Manager 権限/定義権限　設定

[帳票定義]->権限->定義/帳票 にて作成・編集可能の権限を設定します

- 作成した５グループにそれぞれ権限を設定します。
- この例では、５グループに全ての権限を与えています。



© CIMTOPS Corporation.

Manager 権限/クラスター　承認クラスター設定

- それぞれの承認クラスターに対して、編集可能、参照のみ、参照不可を設定します。

編集可能は承認するグループを設定します

参照のみは申請するグループを設定します

参照不可は何も操作できません

Sheet1を選択して編集画面へ

	No.	クラスター名	タイプ	グループ 編集可能	グループ 参照のみ	グループ 参照不可
	0	リーダー	Approve	3：リーダーGr 4：係長Gr 5：課長Gr 6：部長Gr	1：グループ1	
	1	係長	Approve	4：係長Gr 5：課長Gr 6：部長Gr	3：リーダーGr	1：グループ1
	2	課長	Approve	5：課長Gr 6：部長Gr	4：係長Gr	1：グループ1 3：リーダーGr
	3	部長	Approve	6：部長Gr	5：課長Gr	1：グループ1 3：リーダーGr 4：係長Gr

この例では、部長Ｇｒは全ての承認クラスターで、申請/承認権限を持っています。

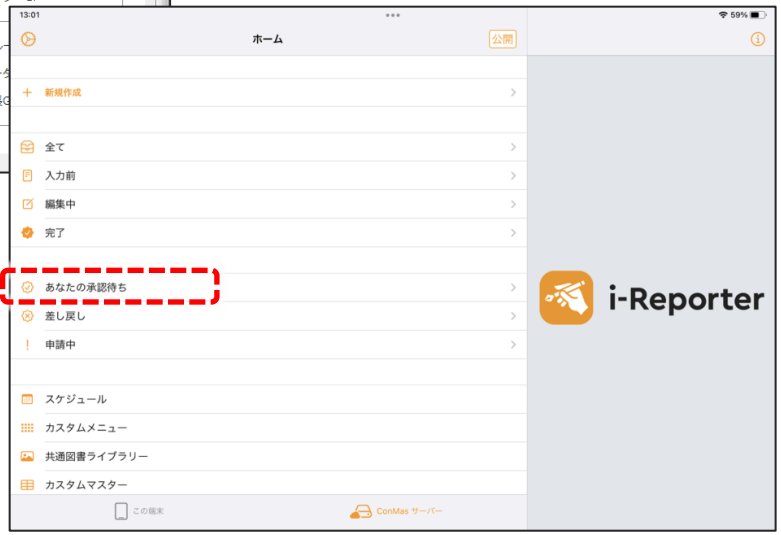
© CIMTOPS Corporation.

Manager 権限/クラスター　承認クラスター設定

- 編集可能（承認可能グループ）に設定されたグループのユーザーは
  i-Reporter帳票ライブラリー画面の「あなたの承認待ち」より、承認対象帳票を確認できます。

編集可能と設定

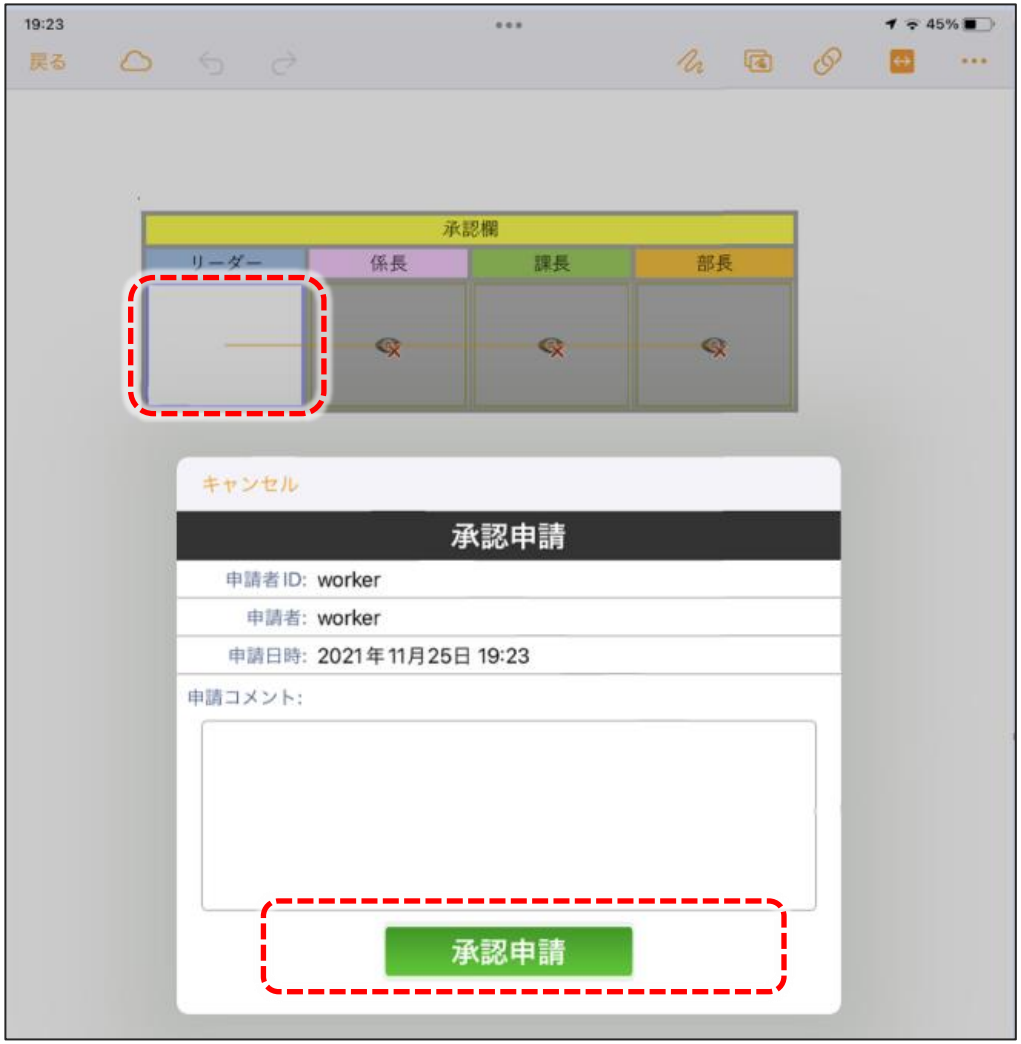
帳票ライブラリー画面から承認待ちの
帳票を確認可能



© CIMTOPS Corporation.

iPad 承認申請

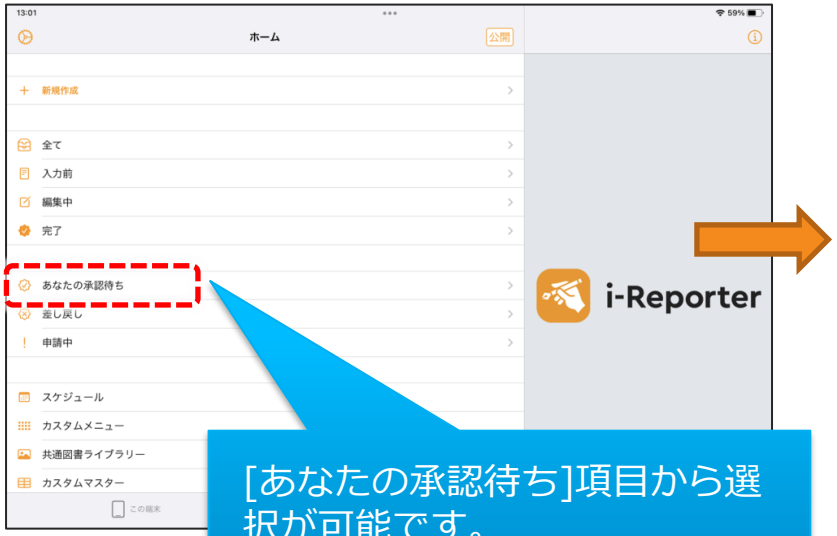
- グループ１のユーザーでログインする人は、リーダーの承認クラスターへ承認申請を行います。

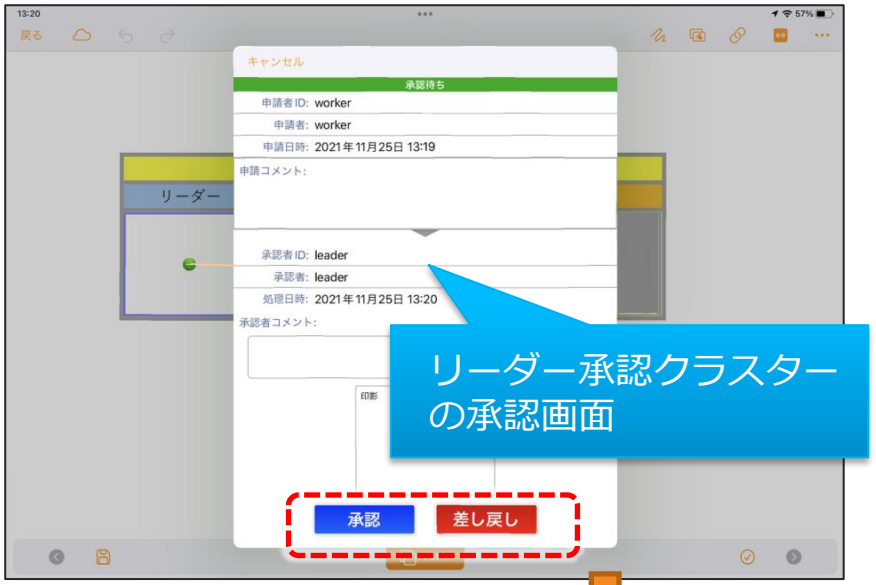


© CIMTOPS Corporation.

iPad 承認と承認申請

- リーダーGrのユーザーでログインする人は、リーダーの承認クラスターへ承認と、係長承認クラスターへ承認申請を行います。



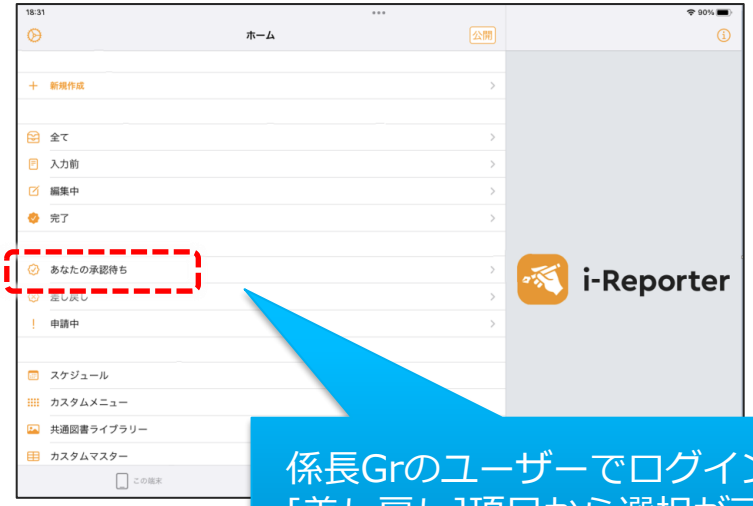


同様に、係長->課長->部長と承認申請/承認が渡っていきます。

© CIMTOPS Corporation.

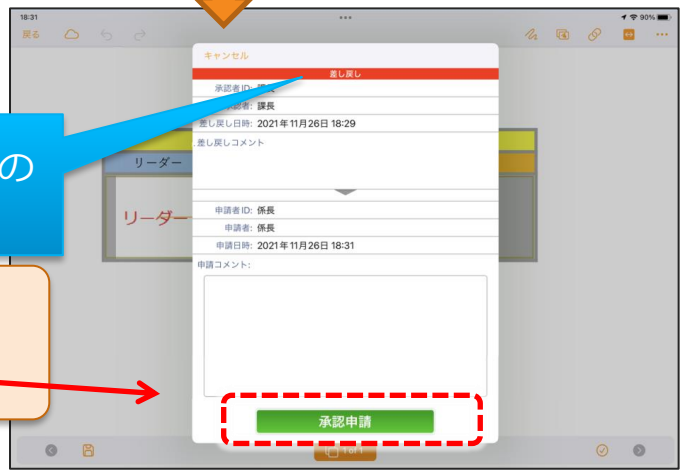
iPad 差し戻し

- 課長Grのユーザーでログインする人が差し戻しを行った場合、係長Grへ差し戻しされます。



係長Grのユーザーでログインし、[差し戻し]項目から選択が可能です。

差し戻された帳票の一覧が表示されます。



係長承認クラスターの差し戻し画面

係長Grは、課長クラスターへ再度承認申請認が必要となります。

© CIMTOPS Corporation.

iPad 編集保存

- 全ての承認がおりるまでは、完了処理ができません。
- リーダー～課長までは、編集保存にてサーバーへ保存します。

© CIMTOPS Corporation.

iPad 完了保存

- 部長承認がおりた時点で、完了保存にてサーバーへ保存ができます。

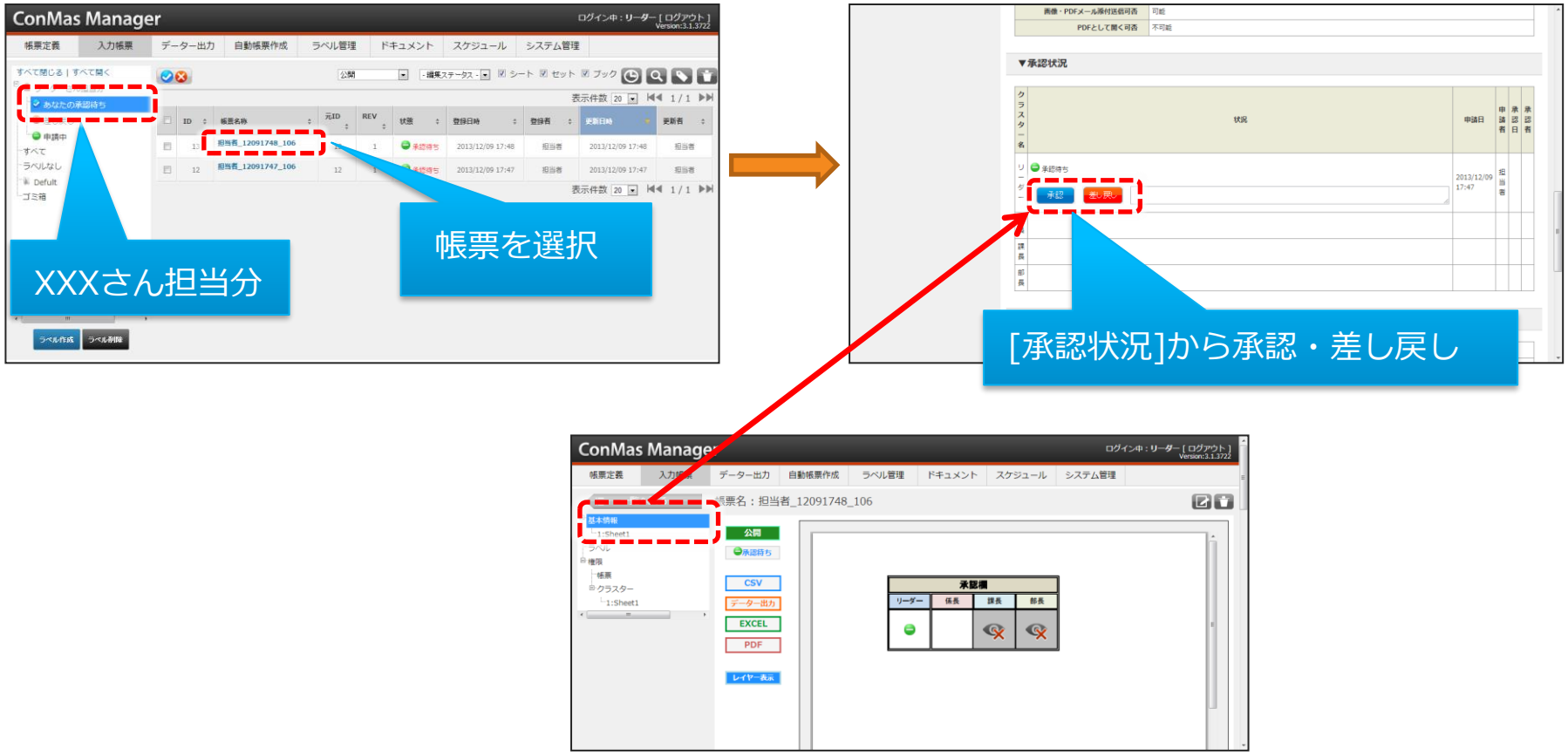
完了処理にて保存

リーダー ～ 部長までの承認がOK

© CIMTOPS Corporation.

Manager 承認・差し戻し

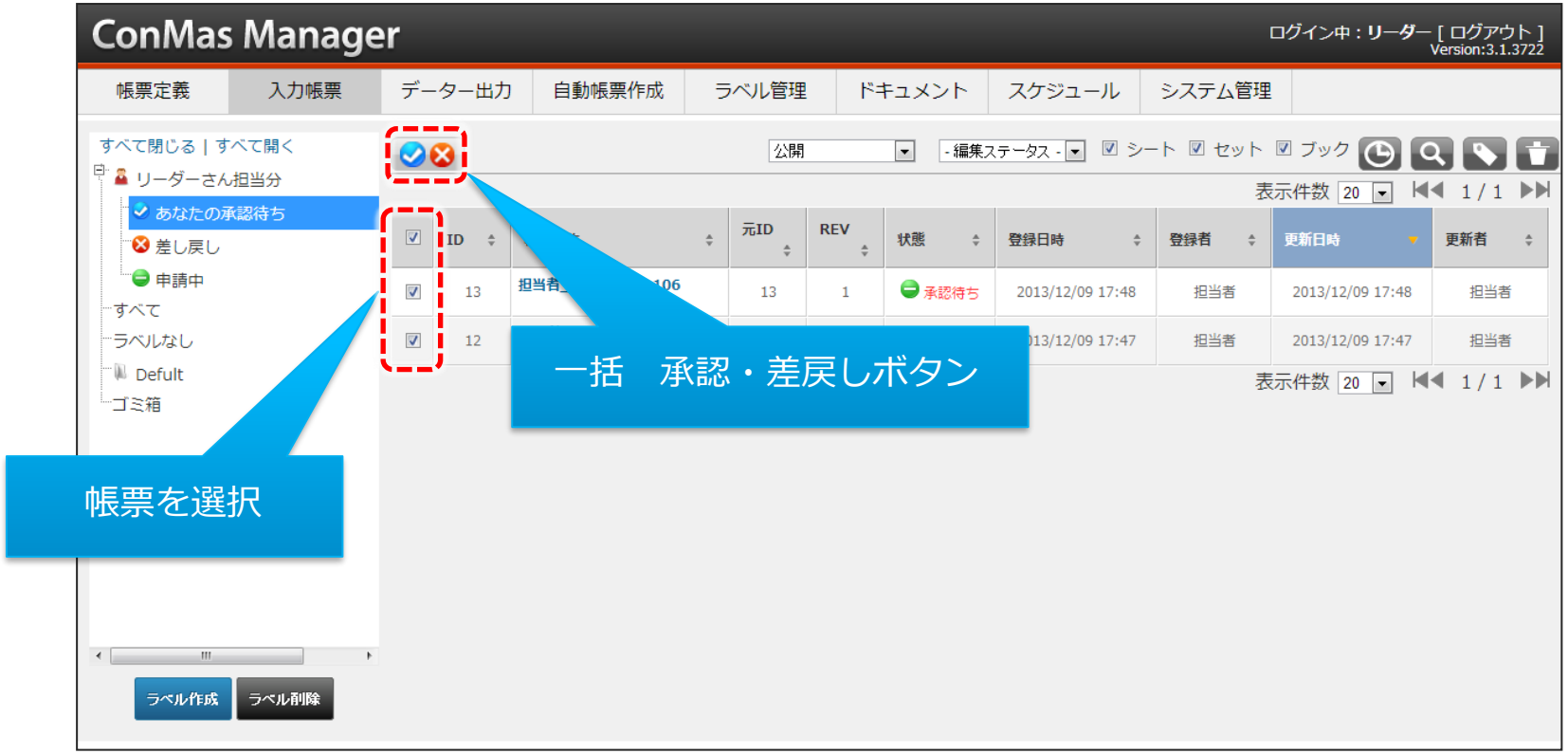
- Manager　[入力帳票]より権限のあるクラスターの承認・差し戻しが可能です。



© CIMTOPS Corporation.

Manager 一括承認・差し戻し

- Manager　[入力帳票] より一括承認・差し戻しが可能です。

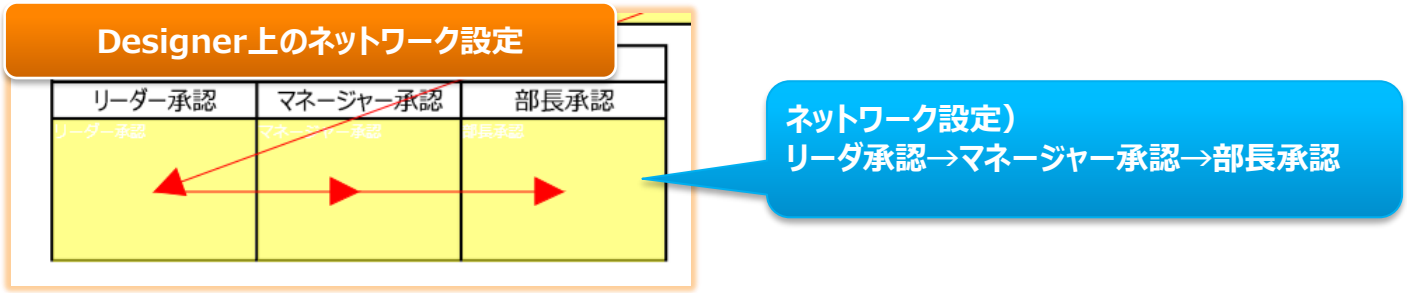


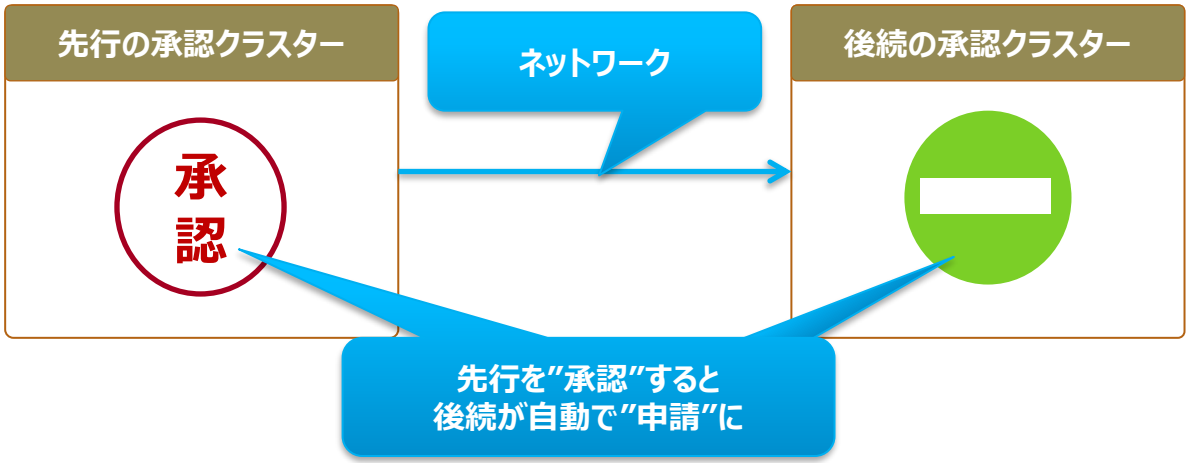
© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク自動申請機能

承認クラスター同士がネットワーク設定されている場合に、
先行の承認クラスターをManagerで”承認”すると、
自動的に後続の承認クラスターを“申請”する機能です。

- 承認申請が上位に流れていくようなフローに使用すると有効的です。



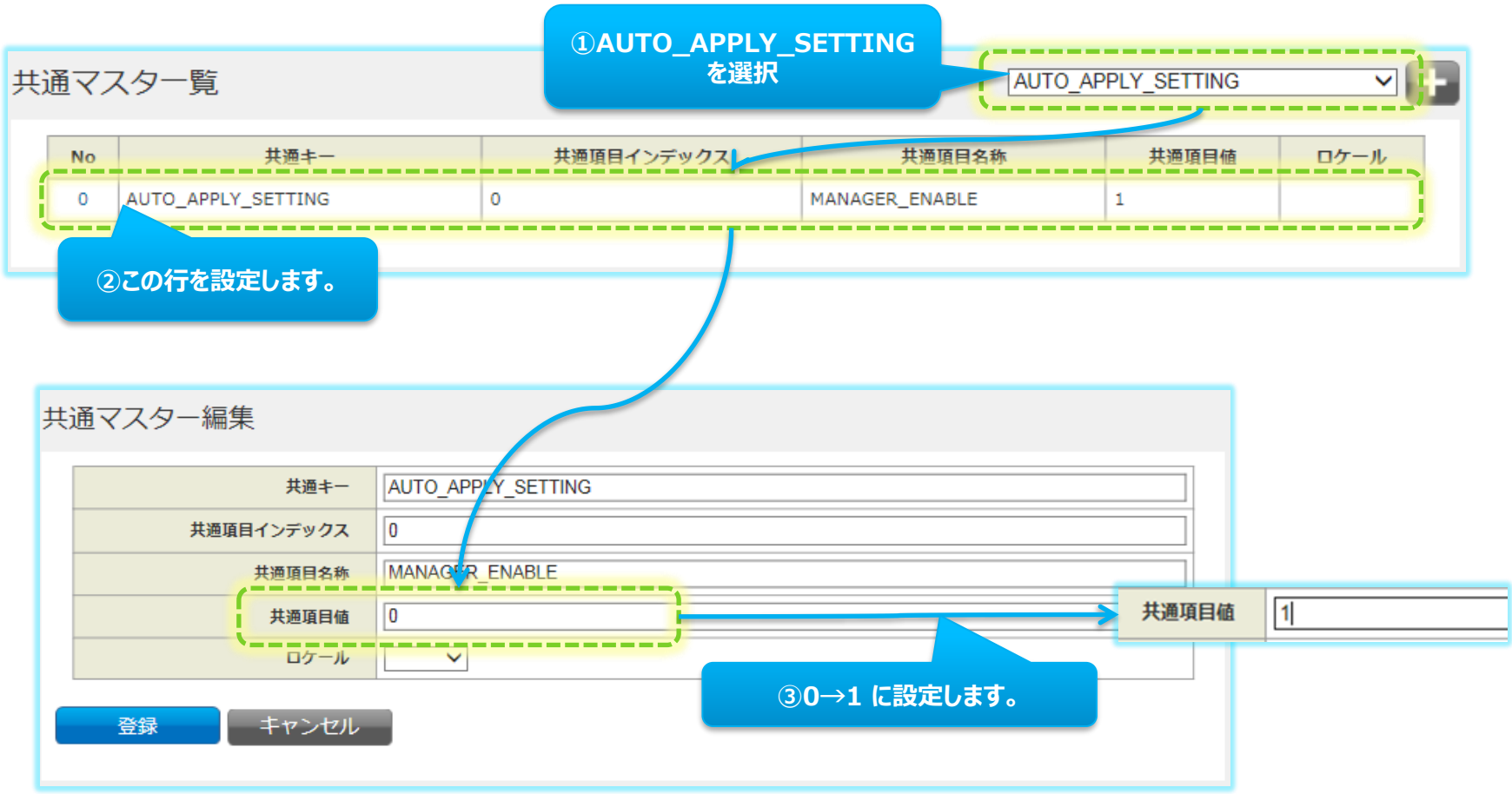


© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク自動申請を有効にする

メニュー”システム管理”の→共通マスター管理にてシステム全体でネットワーク自動申請機能を有効にします。
※帳票定義毎の個別設定はありません。

1. 共通キーより”AUTO_APPLY_SETTING”を選択します。
2. 共通項目名称”MANAGER_ENABLE”を”0”→”1” に変更する事でシステム全体で有効となります。



© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク自動申請の使用例

例） 1．リーダー承認を”承認”する

PDFプレビュー

2．後続のマネージャー承認が”申請”状態となる

PDFプレビュー

マネジャー承認が”申請”状態に

3．マネージャーでログインすると、承認ボタンが表示される

あとは、同様にマネジャー承認を行うと、自動的に部長承認が”申請”となります。

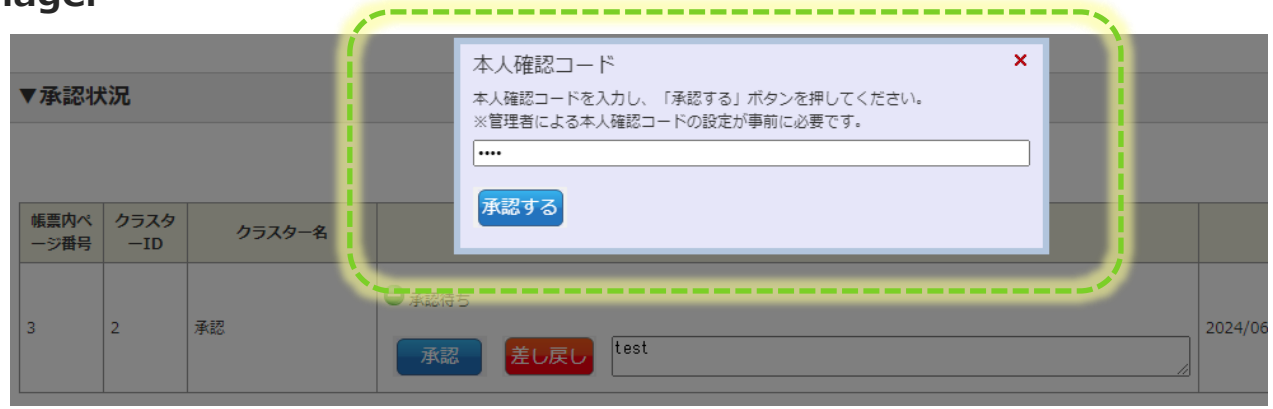
© CIMTOPS Corporation.

本人確認要求機能

承認クラスターを“承認”する際に、承認者が本人であることを確認する機能です。
承認クラスターの”承認する”ボタンクリック時に、本人確認コードの入力が要求されます。
※差戻し時は、本人確認コード入力を要求しません。

i-Reporterアプリ

ConMas Manager



© CIMTOPS Corporation.

本人確認要求機能の利用設定（システム全体設定）

本人確認要求機能は、システム全体、または帳票定義毎に利用有無を設定できます。

[システム全体での設定]
本人確認要求機能の利用有無を共通マスターで設定することで、システム全体に対し一括設定することが可能です。
共通マスターの設定は、全ての帳票定義、入力帳票に適用されます。
設定は [ConMas Manager > システム管理タブ > 共通マスター管理] にて行います。

※共通項目値が0または1の場合、システム全体での一括設定が優先され、帳票定義毎の設定は無視されます。
帳票定義毎に設定を切替えたい場合、共通項目値は -1 を設定ください。

共通キー/共通項目名称	共通項目値	説明
共通キー：IDENTIFICATION_SETTING 共通項目名称：ENABLE_IDENTIFICATION	-1	帳票定義の設定に従う（デフォルト）
	0	システム全体で本人確認要求”しない”
	1	システム全体で本人確認要求”する”

ConMas Manager

[システム管理> 共通マスター管理]

© CIMTOPS Corporation.

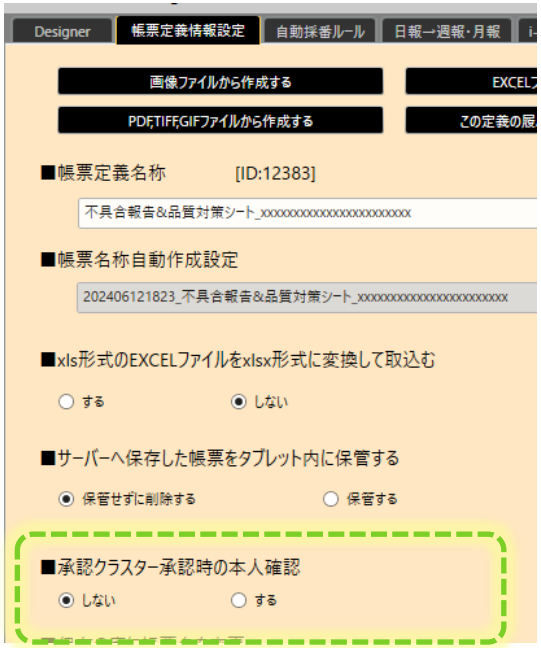
本人確認要求機能の利用設定（帳票定義別設定）

[帳票定義毎の設定]
帳票定義毎に本人確認要求機能の利用有無を設定する場合は、
・ConMas Designerの帳票定義情報設定タブ　または
・ConMas Managerの帳票定義タブ > 基本情報　で設定を行います。

※システム全体での一括設定が有効な場合、帳票定義毎の設定は無効となります。
本機能が有効になる条件：
共通キー：IDENTIFICATION_SETTING　/　共通項目名称：ENABLE_IDENTIFICATION：-1

ConMas Designer

- [帳票定義情報設定タブ]で “する”を選択



ConMas Manager

- [帳票定義タブ＞基本情報]画面で、
  承認クラスター承認時の本人確認：”する” を選択

© CIMTOPS Corporation.

本人確認要求機能　本人確認コードの設定

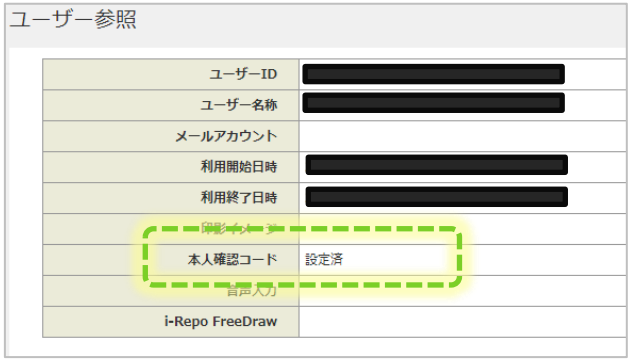
本機能を利用するために、事前に本人確認コードを設定します。

[手順]

1. [ConMas Manager > システム管理 > ユーザー管理画面]で対象ユーザーを選択
2. “編集ボタン” をクリック
3. “新しい本人確認コード]を入力し、”登録”ボタンをクリック

※半角/全角スペースは入力不可
　本人確認コードは、アプリで入力できる文字列で設定してください

- 本人確認コードを入力されていると、ユーザー一覧、参照画面で”設定済”と表示されます。



© CIMTOPS Corporation.

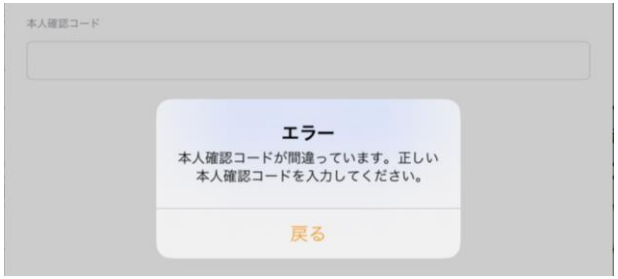
本人確認要求機能　アプリの動作

i-Reporterアプリ上での本人確認は、承認クラスターの承認ボタンクリック時に行います。

1.承認クラスター　＞ 承認ボタン押下

2.本人確認コード入力画面で本人確認コードを入力して
”承認する” ボタンをクリックして承認を行います。

- 本人確認コードが間違っている場合のエラー表示



© CIMTOPS Corporation.

本人確認要求機能　ConMas Managerの動作

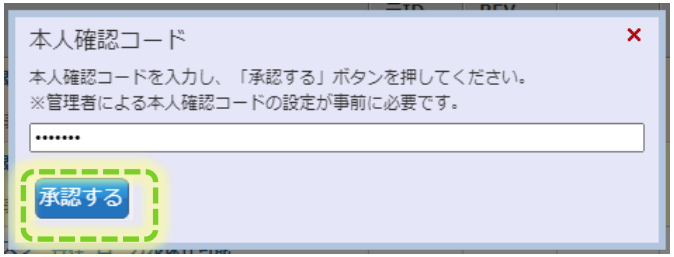
ConMas Manager上での本人確認は、下記2か所の承認ボタンクリック時に行います。

[入力帳票一覧 > 一括承認]

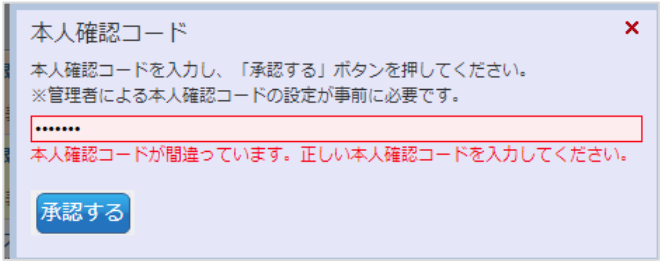
[入力帳票詳細 > 基本情報で承認クラスター毎に承認]

本人確認コード入力画面

- 本人確認コードを入力して”承認する”ボタンをクリックして承認を行います。



- 本人確認コードが間違っている場合のエラー表示



© CIMTOPS Corporation.